

就業構造基本調査

目的：就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的とする。

周期
5年

1 行政上の施策への利用

1 審議会等

産業構造審議会

●国内の潜在需要を掘り起こす新産業分野の創出に向けての基礎資料として、都道府県における女性有業率、年齢階級別雇用者割合(女性)が利用されています。

労働政策審議会

●雇用保険制度に関する政策審議の基礎資料として、本業も副業も雇用者である労働者数や本業の所得階級別の副業している者等のデータが利用されています。

雇用政策研究会

●地域雇用等に関する政策審議の基礎資料として、都道府県別の有業者数、雇用者数等が利用されています。

男女共同参画会議

●地域経済の活性化に向けた女性の活躍促進についての基礎資料として、都道府県別の女性の年齢階級別有業率、雇用形態別雇用者の割合等が利用されています。

2 都道府県等別の就業構造の分析及び地域活性化施策の立案

2 国民経済計算の推計への利用

就業者等の推計

●国民経済計算における定義に基づいた就業者数、雇用者数の算出に利用されています。

3 最近の白書等における分析での利用

1 経済財政白書

雇用者数の変化が時間当たり賃金に与える影響

●産業別雇用者数の変化

健康長寿の促進と地方経済、財政への影響

●高齢者の就業希望者比率

2 労働経済白書

離職、就業希望と生涯における出来事

●前職雇用者の離職理由別にみた離職者数

介護と就業

●前職の離職理由別にみた、離職期間が2年以上の転職就業者の割合

製造業の果たす役割と労働移動

●産業、所得階級別有業者数の推移

●産業別労働生産性の推移

●転職者の前職産業と現職産業の関係



構造変化と非正規雇用

- 転職就業者数の従業上の地位の変化
- 男女・産業・雇用形態別雇用者数の推移
- 非正規雇用労働者比率変化の要因分解

3 厚生労働白書

結婚に関する意識

●年齢別・雇用形態別にみた男性の有配偶率の比較

仕事に関する意識

●無業者の非就業希望、非求職理由

4 高齢社会白書

高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向

●介護・看護を理由に離職・転職した人数

●介護・看護を理由に離職・転職した人の年齢構成割合

●高齢者の就業・不就業状況

●男女・年齢・雇用形態別雇用者数及び非正規雇用者率(役員を除く)

5 子ども・若者白書

若年無業者、フリーター、ひきこもり

●若年無業者の非求職理由の割合

●若年無業者の非就業希望理由の割合

6 少子化社会対策白書

結婚、出産、子育てをめぐる状況

●収入階級別雇用者構成

7 中小企業白書

中小企業・小規模事業者における人材の確保・育成

●従業員規模別の男女構成割合

●従業員規模別の年齢構成割合

●企業規模別正社員の最終学歴

●企業規模別の雇用形態の推移

8 ものづくり白書

良質な雇用を支えるものづくり人材の確保・育成の課題と対応

●都道府県における製造業就業率と完全失業率の関係

4 地方公共団体における利用

1 男女共同参画計画

女性の就業の状況

●地方公共団体における男女共同参画計画策定の基礎資料として男女別の正規従業員数や雇用形態別女性雇用者数、女性の就業希望者の割合等が利用されています。

2 雇用対策

職業能力開発計画

●産業別、職業別、男女別有業者数が職業能力計画策定の基礎資料として利用されています。

3 県民経済計算の推計

●県民経済計算の作成の際、基礎資料として利用されています。また、産業連関表作成の推計資料として利用されています。

社会生活基本調査

目的：国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

周期
5年

●6歳未満の子供をもつ夫の1日当たりの育児・家事関連時間(平成23年社会生活基本調査結果)

67分



1 行政上の施策への利用

1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

仕事と生活の調和の実現状況の把握

●6歳未満の子供をもつ夫の育児・家事関連時間が、「仕事と生活の調和が実現した社会」の実現に向けた取組を推進するための数値目標として利用されています。

●通勤時間、休養・くつろぎの時間、ボランティア活動、趣味・娯楽の年間行動者率などが、ワーク・ライフ・バランスの実現度指標として利用されています。

2 男女共同参画

男女の生活時間の比較

●6歳未満の子供をもつ夫の育児・家事関連時間が、男女共同参画社会の形成に向けた成果目標として利用されています。また、男女別の介護・看護の行動者率、介護・看護時間が参考指標として利用されています。

無償労働の把握

●家事、育児等の無償労働時間を把握するための基礎資料として利用されています。

3 少子化・高齢社会対策

男性の育児への参加状況の把握

●6歳未満の子供をもつ夫の育児・家事関連時間が、男性の育児参加の促進のための参考指標として利用されています。

高齢者介護や乳幼児保育に関する生活時間の分析

●介護者の介護・看護時間、子供のいる夫婦の生活時間などが分析資料として利用されています。

2 最近の白書等における分析での利用

1 男女共同参画白書

夫の家事・育児時間

●6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連時間(各国比較)
ボランティア活動行動者数

2 少子化社会対策白書

夫の家事・育児時間

●6歳未満の子供を持つ夫の家事・育児関連時間(各国比較)

3 子供・若者白書

若者の生活時間

●1次活動、2次活動及び3次活動時間の推移

●平均起床時刻・平均就寝時刻の推移

●スポーツ、キャンプ、外国語、ボランティア等の行動者率

4 労働経済の分析

有業者の生活時間

●性別・雇用形態別にみた1日の就業時間帯における雇用者数

5 厚生労働白書

夫・妻の家事・育児時間

●6歳未満の子供をもつ親が育児・家事に費やす時間

●夫(有業者)の育児行動者率、育児行動者平均時間

健康をめぐる状況

●平均睡眠時間の推移

3 地方公共団体における利用

男女共同参画計画

●都道府県における男女共同参画計画の基礎資料として、男女別の家事や育児に費やす時間が利用されています。

少子化・高齢社会対策

●共働きの夫・妻の生活時間、男性の通勤時間、帰宅時間などが少子化・子育て支援策策定の基礎資料として利用されています。

●65歳以上の学習・自己啓発・訓練、趣味・娯楽、ボランティア活動の年間行動者率が高齢者福祉の基礎資料として利用されています。

スポーツ・文化・芸術施策の評価

●スポーツ、芸術鑑賞などの年間行動者率が、自治体のスポーツ・文化・芸術施策評価の基礎資料として利用されています。

4 国際比較のための利用

国際機関へのデータ提供

●経済協力開発機構(OECD)へ社会生活基本調査の結果を提供しています。OECDでは、各国から収集した生活時間等の結果を用いて国際比較をしています。

5 民間企業や学術研究機関等による利用

学術研究分野

●社会学、家政学、文化経済学、労働経済学など、様々な分野での研究に利用されています(年間収入別世帯員の生活時間、教育別趣味・娯楽の行動者率、夫と妻の生活時間比較など)。

民間企業や労働組合、NPO

●買い物をする時間帯などがマーケティングに利用されています。また、若年層の労働時間や男女別の生活実態が労働組合やNPO活動の現状分析に利用されています。